

第 9 回九州 MIST 研究会 開催報告

日本 MIST 研究会会員 各位

令和元年 7 月 6 日(土)にホテルレオパレス博多 3 階イベント ホールにおいて、第 9 回九州 MIST 研究会を開催いたしました。

数日前の九州豪雨による交通機関への影響等もあり、一時は開催そのものも危ぶまれましたが、幸い当日は好天に恵まれ 78 名の先生方のご参加をいただき盛会のもとに終了いたしましたのでご報告いたします。

一般演題には 9 題の申し込みがあり、非常にタイトなタイムスケジュールではありましたが、BKP や外傷、LIF と多岐にわたる分野の発表で活発な討論が行われました。術中放射線被曝を低減させるための取り組みや、LIF による前方再建術に関する報告が多かったのが印象的でした。

特別講演 I では、千葉大学医学部付属病院 整形外科 特任准教授 折田純久先生に『腰椎前方「低」侵襲手術のための「大」視野学—解剖・合併症から学ぶ LIF 手技の基礎とコツ』という演題でご講演いただきました。これまでの豊富な基礎研究や臨床研究に裏打ちされた解剖から手術手技に関する非常に充実した内容であり、前方手術の経験者にとってもさらに知識を深めることができた良い機会であったと思います。

特別講演 II では、川崎医科大学付属病院 脊椎・災害整形外科 副部長 中西一夫先生に、『転移性脊椎腫瘍に対する診断と治療 -今後増え続けるがんに求められる脊椎外科医の対応-』という演題でご講演いただきました。川崎医科大学病院での転移性脊椎腫瘍による骨関連事象を予防するためのリゾソール治療について、その立ち上げから現在に至るまでの取り組みを詳細にご講演いただきました。近年の MIST の発展によって、転移性脊椎腫瘍の治療の分野においてもパラダイムシフトが起きつつあるという現状を知ることができました。

ハンズオンセミナーでは春陽会中央病院の寺山星先生に『骨盤アンカー 誰でも簡単 SAI スクリュー』というタイトルで講義と実演をしていただきました。ナビゲーション等に頼らなくても安全に SAI スクリューを設置する方法やコツを教えてくださいました。20 分という短い時間でしたが、フロアに関心も非常に高く大盛況のうちに終了しました。

Best presenter には、『骨粗鬆性脊椎椎体骨折を伴った腰部脊柱管狭窄症に対する OLIF の経験』という演題でご発表頂いた広島市から参加のシムラ病院の村田英明先が受賞されました。手術侵襲を少なくするためのこだわりと熱意が伝わる非常にすばらしいご発表でした。

本研究会を盛会に終えることができたのも、九州 MIST 研究会世話人の先生方をはじめ、サポートいただいた共催の旭化成ファーマ 株式会社、協賛の各メーカーの皆様のお力添えのおかげと存じます。ご参加いただきました皆様には心より感謝申し上げます。

次回の第 10 回九州 MIST 研究会は大分整形外科 井口洋平先生のもとに開催予定です。会期や会場など詳細については後日開示予定です。日本 MIST 研究会会員の皆様におかれましては是非ご参加いただきますよう、何卒よろしく願いいたします。

第 9 回九州 MIST 研究会

当番世話人：永吉 隆作（緑泉会 米盛病院 整形外科）

〒890-0062

鹿児島市与次郎 1 丁目 7 番 1 号

社会医療法人 緑泉会 米盛病院 整形外科

永吉 隆作

